



## 株式会社 中田商事



代表取締役 中田 純一 氏

「従業員の幸せ」と「自社の持続的成長」を実現するために

代表取締役 中田 純一 氏  
 本社所在地 三重県伊賀市荒木野々浦  
 主な事業内容 一般貨物自動車運送  
 従業員数 61名(男性:37名・女性:24名)  
 健康経営優良法人 2022認定

健康経営優良法人  
2022 認定

中小規模

「ピンチをチャンスに」という言葉があります。この言葉はまさしく弊社のためであると常日頃感じています。と言いますのも、創業は平成7年5月「阪神淡路大震災」の年にあたります。また会社も業界もこのままではいけない、会社の成功の先には社員の幸せがなければいけないと大改革に取り組んだのがリーマンショックの年でした。その大改革も経験や勘で行うのではなく「物流大学」に入学し経営と物流のあるべき姿を基礎から勉強しなおしました。その時の学友とは今でも情報交換をしており私の良き相談相手であり業界を盛り上げる同志でもあります。

## 業界のイメージ新と従業員の幸福

運送業界、運送会社のドライバーと聞いてどんなイメージを持つか？旧態依然の業界？ドライバーは一匹オオカミ、独身者が多く、不規則な生活、不健康？当たっています。現状維持では従業員の幸せはないと確信しました。言い方を変えればここから改革できれば社員は幸福感を感じ、働く意欲も向上し従業員も会社も成功できると確信しました。

## 地域に貢献してこそ企業の存在価値がある

弊社は、主業である運送業以外に倉庫業、企業主導型保育事業ほか多角的な経営をしています。そんな弊社が購入した土地にサッカー場建設の話が舞い込み躊躇することなく取り組むことにしました。そのことは「青少年を中心とした地域の人々の健康増進」に繋がり地域経営者の皆様から色々な場でお褒め頂いております。

## 取り組みの柱は毎朝の「点呼」

弊社全体の圧倒的人数を占めるのがドライバーです。おわかりいただけと思いますがドライバーの体調が運転中に急変したら取り返しのつかないことになってしまい本人も会社も大きなダメージを受けることになります。健康管理、健康経営の一環というよりも「リスク管理」の観点で最優先として徹底的に取り組んでいます。

## 取り組みと時代がマッチしてきたことを実感

前述の通りリーマンショックを機に改革をスタート。14年前のことです。従業員の幸せと企業の持続的な成長のために試行錯誤しながら取り組んだ施策が今こへ来て称して「健康経営」と呼び「SDG s」と呼ばれるようになったという感があります。女性の雇用率40%、女性管理職比率50%、SDG sは17項目中13項目の取り組み。「えるぼし認定二つ星」「働きやすい職場認証制度一つ星」。認証、懸賞ありきではなくリーダーとして取り組みが間違っていないことへの自信となっています。

## 今後の課題と展望

人材確保が当面の課題と認識しています。ここまで改革を進めていますが人材確保にはまだまだ苦戦しています。改革を進めながらSNS等の発信で是非弊社で働きたいという候補者をたくさん作って行きたいと思っています。今のまま当たり前のことを当たり前に進めていけば実現は夢ではないと思っています。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

問合せ先・担当者

